

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【公開番号】特開2013-56283(P2013-56283A)
 【公開日】平成25年3月28日(2013.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報2013-015
 【出願番号】特願2012-288663(P2012-288663)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 5 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成26年2月3日(2014.2.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域に複数の釘が立設され、前記遊技領域に射出され入球口へ入球する遊技球を検出する入球検出手段を備えた遊技機であって、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、

該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

該入球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段と、
 を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当り遊技が発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、

前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、

を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

前記遊技制御手段は、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、

該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

を備え、

前記演出制御手段は、

前記入球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段
 を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当り遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、

前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、

を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

前記演出制御手段は、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、

該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

該入球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

遊技領域に複数の釘が立設され、前記遊技領域に射出され入球口へ入球する遊技球を検出する入球検出手段を備えた遊技機であって、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、

該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当り遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、

前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、

を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

前記遊技制御手段は、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段

を備え、

前記演出制御手段は、

前記入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当り遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、

前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、

を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、

前記演出制御手段は、

予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球

異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、

該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、

該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

本発明の請求項1に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、前記遊技領域に射出され入球口へ入球する遊技球を検出する入球検出手段を備えた遊技機であって、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、該入球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

本発明の請求項2に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当たり遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、前記遊技制御手段は、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記入球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

本発明の請求項3に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当たり遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、前記演出制御手段は、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、該入

球異常フラグがセットされていると、警告動作を行なう異常警告手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

本発明の請求項4に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、前記遊技領域に射出され入球口へ入球する遊技球を検出する入球検出手段を備えた遊技機であって、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

本発明の請求項5に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当たり遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、前記遊技制御手段は、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段を備え、前記演出制御手段は、前記入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

本発明の請求項6に記載の遊技機は、遊技領域に複数の釘が立設され、入球口へ遊技球が入球すると乱数を抽出し、該乱数に基づいて、遊技者にとって有利な大当たり遊技を発生させるか否かを抽選する遊技制御手段と、前記抽選結果に応じた演出動作を行なう演出制御手段と、を備え、前記入球のし易さが前記複数の釘の配置および姿勢の影響を受ける遊技機において、前記演出制御手段は、予め定められた時間内に予め定められた個数以上の遊技球が前記入球口に入球する入球異常が発生したか否かを判断する入球異常判断手段と、該入球異常判断手段によって前記入球異常が発生したと判断された回数が、予め定められた回数以上継続すると、入球異常フラグをセットする入球異常フラグセット手段と、該入球異常フラグがセットされていると遊技機の外部に異常情報を出力する異常情報出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 6 】

請求項 1 に記載の遊技機は、変形例 1 に記載の遊技機が異常警告手段を備えたものとなっており、入球異常フラグがセットされていると、異常警告手段が警告動作を行なう。従って、請求項 1 に記載の遊技機によれば、釘調整による不正を行なった者に対して警告を行なうことができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 7 】

請求項 2 に記載の遊技機は、請求項 1 に記載の遊技機が遊技制御手段と演出制御手段を備えたものとなっており、遊技制御手段が入球異常判断手段および入球異常フラグセット手段を備え、演出制御手段が異常警告手段を備えている。この結果、遊技制御手段は、入球異常判断手段および入球異常フラグセット手段に相当する処理を行なう必要はあるが、異常警告手段に相当する処理を行なう必要はない。従って、遊技制御手段の処理負担を軽減することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 8 】

請求項 3 に記載の遊技機と請求項 2 に記載の遊技機の相違点は、演出制御手段が入球異常判断手段および入球異常フラグセット手段をも備えている点である。この結果、遊技制御手段の処理負担を一層軽減することができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 9 】

請求項 4 に記載の遊技機は、変形例 1 に記載の遊技機が異常情報出力手段を備えたものとなっており、入球異常フラグがセットされていると異常情報出力手段が判断した場合には、異常情報出力手段が当該遊技機の外部に釘調整による不正が発生した旨を示す情報（異常情報という）を当該遊技機の外部に送信する。従って、請求項 4 に記載の遊技機によれば、遊技機から離れた場所にいる者に対して異常情報を送信することにより、釘調整による不正が発生したことを知らせることができる。

なお、この遊技機を前述のように遊技制御手段と演出制御手段を備えた構成とした場合には、遊技制御手段が入球異常判断手段、入球異常フラグセット手段、および異常情報出力手段を備えた構成とすることが考えられる。これに反し、請求項 5 や請求項 6 のような構成とすることも考えられる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

請求項 5 に記載の遊技機は、請求項 4 に記載の遊技機において、遊技制御手段と演出制御手段を備えたものとなっており、遊技制御手段が入球異常判断手段を備え、演出制御手段が入球異常フラグセット手段および異常情報出力手段を備えている。この結果、遊技制御手段は、入球異常判断手段に相当する処理を行なう必要はあるが、入球異常フラグセット手段および異常情報出力手段に相当する処理を行なう必要はない。従って、遊技制御手段の処理負担を軽減することができる。

【 手 続 補 正 1 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 6 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 6 1 】

請求項 6 に記載の遊技機と請求項 5 に記載の遊技機の相違点は、演出制御手段が入球異常判断手段をも備えている点である。この結果、遊技制御手段の処理負担を一層軽減することができる。